

## 第9回福岡市地下鉄七隈線建設技術専門委員会 議事要旨

### ○議 事

- 1 道路陥没部やトンネル坑内の現在の状況について（報告）
- 2 地質調査結果（中間報告その2）について
- 3 再掘削工法について
- 4 地盤改良について

### ○委員会での主な議論

#### 1について

- ・道路陥没部やトンネル坑内の現在の状況について事故発生時から現在までの地下水位やトンネルの計測状況を確認した。

#### 2について

- ・前回報告があった地質調査の結果も含めて、最新の地質情報を基に、想定される陥没形状等についての報告があった。
- ・今後の地盤改良の検討において、これまでの調査で得られた地下水の流向・流速のデータを整理、分析したうえで傾向を把握することが重要との意見が出された。
- ・岩盤層の力学特性については、広い範囲で見えた場合と局所的に見た場合でそれぞれ評価を行い、広い範囲で見えた場合には、岩盤の性状ごとの分布状況を踏まえて評価することが重要との意見が出された。

#### 3について

- ・再掘削工法について、安全性および市民生活への影響の観点から工法選定に関する意見交換を行った。
- ・開削工法については、再度、リスク等を整理した結果、採用が困難であることを改めて確認した。
- ・非開削工法については、確実に地盤改良を行えば、人工岩盤掘削が有利との意見が多かったが、特殊シールドについても施工手順を整理し、さらに議論を深めるべきとの意見が出された。次回委員会で討議し、最終的にとりまとめを行うこととした。

#### 4について

- ・大断面トンネル部の地盤改良について、目的や改良範囲設定の考え方を確認した。また、標準～3連トンネル部の地盤改良について、検討の方向性や必要性を討議した。
- ・地盤改良については、本日提示した内容について、より検討を加えて次回委員会で討議し、最終的にとりまとめを行うこととした。